



さとやま

6月に見られるいきもの



今年の5月は、中旬頃梅雨の走りにしてはちょっと多すぎる長雨があり、肌寒い日が続きました。写真のように毎年来園者の目を楽しませる菖蒲園のハナショウブの生育が気になりますが、里で6月に見られる生き物をご紹介します。

ビオトープ上の池では、花の近くの葉が白くなるハンゲショウの群生が涼しげです。センターゾーンの柿畑では変わった形のカラスビシャクの花を見つけることができます。

田んぼエリアの休憩所近くでは鮮やかな青紫色のキキョウソウが咲きます。ハンノキ広場から、中央広場へ向かう道や、トンボの里では、秋に赤い実のなるウメモドキの小さな花が見られます。トンボの里の木道では、ゴウソウが群生しています。

万灯山エリアでは、かわいいプロペラ型のテイカカズラが咲く中、アジサイに似たイワガラミの花を見つけることができます。

また、里のあちこちで、カラスアゲハなどアゲハチョウの仲間が飛び交います。

そんな初夏のいきものを探して、里を散策してみませんか。



ハンゲショウ



カラスビシャク



キキョウソウ



ウメモドキ



ゴウソウ



テイカカズラ



イワガラミ



カラスアゲハ

里の生き物紹介

クリ

6月、田んぼエリアの端で、大きなクリの木に花が咲きます。里には、このほかにもクリの木はありますが、これが一番目立ちます。樹木全体が白く煙るように見え見事です。



クリは、ブナ科の落葉高木で、どんぐりの木のなかまです。北半球の温帯に広く分布して、実は食用になるため、多くの品種がつけられました。

世界のクリの品種は12種類程度あると言われていますが、果樹として栽培されているクリは、和栗・西洋栗・アメリカ栗・中国栗の4種類です。

和栗には自生している柴栗と、栽培品種があります。

この木は栽培品種のようです。

多くのブナ科の植物は風媒花ですが、クリは虫媒花で、そのためか消毒液のような独特なおいが発生し、苦手な人も多いようです。以前ご紹介したヒサカキもそうですが、虫を呼ぶための花のにおいは、必ずしもヒトにとって心地よいものではありません。

花は雌雄異花で、たくさんある雄花の花穂の一部の根元辺りに雌花がつきます。

雄花は7個ほどが集まって花穂につきます。雌花は将来イガになる総苞の中に3個あって、1個の花から10本近い針のような花柱が出ます。

花が終わると総苞の鱗片がイガの棘になっていきます。



いがは、写真のように秋になるまでに少しずつ大きくなっていきます。9月頃には十分な大きさになり、10月になると、イガも色付いて、4つに割れ、地面に落ちます。



イガの中の3個の雌花は、それぞれが1つの大きな果実になります。先端の尖ったところは、柱頭の名残です。写真のイガは、1つだけが受粉できたのか、後の2つはペラペラの未熟な状態でした。



里で、6月に写真のような蝶を見かけることがあります。これは、**アカシジミ**で、クリの花に好んで訪れます。あのにおいに惹かれてくるのでしょうか。この蝶は、人里ではなかなか見られない樹上性のシジミチョウ、ゼフィルスのなかまで、幼虫はクリと同じブナ科の**コナラ**などを食べて育ちます。

里山の環境ではコナラの木が多いので、そこで育ったものがクリの花を訪れることもあります。ぜひ探してみてください。

5月の行事紹介



「春の里山の野鳥観察」を5月8日（日）に開催しました。初めての野鳥観察の方のために双眼鏡の使い方などの説明を行い、里山へ出発しました。

緑あふれる春の里山に生息する夏鳥たちのさえずりを聞きながら探鳥し、写真は、小草池周辺を望遠鏡と双眼鏡で野鳥を観察しているところです。

終了後の感想は、鳥を探すのは大変だったが鳥を間近に見られ可愛かった、初心者にもわかりやすく解説がされ良かった等で満足した時間を過ごすことができましたようです。

6月の行事予定

5日（日）	昔なつかしい“草花あそび”	20名	AM 9:30～11:30	河江喜久代
-------	---------------	-----	---------------	-------

内容 ～ 里山を散策し、昔よく遊んだ草花を使って花冠などを作り遊びます。

7月の行事予定

24日（日）	梅雨時のキノコを探そう	20名	AM 9:30～11:30	石川まゆみ
--------	-------------	-----	---------------	-------

内容 ～ 梅雨時の里山に多く生えるきのこを散策しながら見つけ、その性質を学びます。

- ◎ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**6名以下の場合**は開講しません。
- ◎ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学者扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◎ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◎ 原則、**参加費は無料**ですが、各講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◎ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課